

## 2025年度 泉南地区 実技研修会報告

作成者：田尻町立小学校 渡部那月

日時 8月4日(月) 14:00~16:30

会場 熊取交流センター すまいるズ 煉瓦館

内容 造形遊び「先生も楽しもう！造形遊びの授業」

講師 泉南市立東小学校 校長 河野 敬重先生

### 1. はじめに

泉南地区では、昨年度に引き続き泉南市立東小学校長の河野敬重先生に講師としてお越しいただきました。実技研修を行う前に泉南郡小学校研究会では、造形遊びの準備の仕方や評価の仕方がわからないという話が出ました。そこで、今年度は造形遊びの材料選びや事前準備、評価の仕方を交えながら、造形遊びの実践をたくさん教えていただきました。

### 2. 内容

- ①造形遊びについて
- ②造形遊び（紙コップをならべてみよう）
- ③造形遊び（お花紙を窓につけてみよう）
- ④造形遊び（新聞を丸めてみよう）
- ⑤造形遊び（ポリ袋をつなげよう）
- ⑥造形遊び（傘を使ってみよう）

#### ①造形遊びについて

造形遊びは学校で活動した記憶がなくても、幼いときから（大人になってからも）経験しているものだとお話しいただきました。私たちの日常の中で材料や行為、場所の特徴から、形や色にかかわる活動、造形活動が展開されています。学校では授業時間の中で、扱う材料や活動場所がある程度指定されますが、子どもは自分で活動を見つけたり、思いついたり、工夫したり造形活動に没頭します。その過程で造形的な見方・考え方を働かせ、資質や能力を発揮することを期待したのが「造形遊び」だと教えていただきました。



#### ②造形遊び（紙コップを使ってみよう）

たくさんの紙コップを使って、造形遊びをしました。はじめは、個人で紙コップを積み上げたり、ならべたりしていましたが他の人と作品を見合ったり、交流したりすることで作品の広がりが見られました。

「その作品、おもしろいから一緒にやろう。」

「これからはどうなっていくのか気になる。」

「これを組み合わせたらどうかな。」など



◎作品をきっかけに個人→ペアやグループでする協働的な学びの活動に広がった。

◎多様な表現に触れることができ、楽しさや喜びを共有することができた。



紙コップをどれだけ最少で円を作って、転がすことができるのか挑戦していました。積み上げる人たちが多く、違った見方・考え方で造形遊びをしていました。

はじめは 1 人でつくっていましたが、他の人がその活動を見たときに「キャップを置いたらおもしろそうじゃないかな。」というつぶやきから活動が広がりました。規則的な並び方がきれいだという意見もありました。



### ③造形遊び（お花紙を窓につけてみよう）

お花紙をちぎって、窓に霧吹きを使って貼りました。まわりの環境を利用することで、とてもすてきな作品となり、スタンドグラスのようにきれいに光っていました。

乾いてしまうととはがれてしまうので、上からラップをすると落ちにくくなります。



つくっていく中で、先生たちから声の多かったのは、国語の内容で使えそうだという話でした。スイミーを題材につくられている人もいました。授業では、国語の題材から画用紙などを使って、絵で表現することが多く見られますが、窓を使って表現することで子どもたちの想像も広がるのかなと感じました。

◎空間全体で造形活動に取り組む体験ができる。

◎光を通す表現の美しさを体感することができる。

トカゲをたくさんの色を使って表現していました。1つの色だけでなく、重ね合わせることで他の色を作ることができていました。子どもたちも試行錯誤していく中で「この色がほしいけどないな・・・。」と思ったときに、日常の経験から組み合わせる、重ねるといった工夫をすることで遊びの幅が広がっていくのだと感じました。



◎普段の遊びを深めることで造形遊びの表現を広げることができる。

◎色の組み合わせ、重ね合わせることを楽しむことができる

#### ④造形遊び（新聞を丸めてみよう）

新聞を丸めて、細長い棒から多くの活動がうまれました。

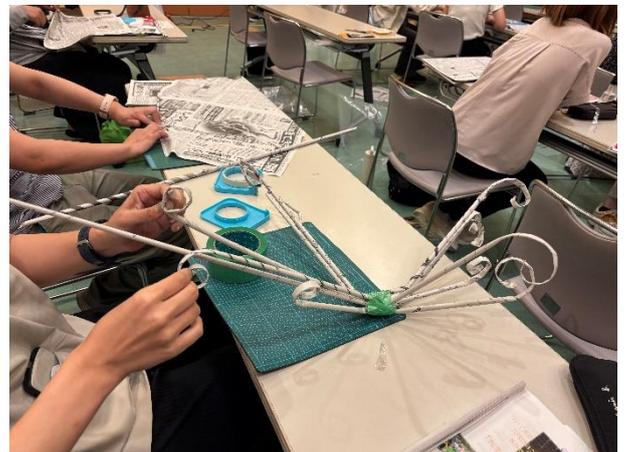


新聞を丸めることはとても難しいと感じました。机の上で丸めると新聞紙が上手く丸めることができず、滑ります。その時は、カッターマットを下に敷くと滑りにくく、新聞を丸めることができました。新聞の間にお花紙をつけてすだれのように作っていました。

新聞の先も丸めることで、新しい形をつくりだしていました。丸めると細長くともがったものになるイメージがありますが、「先も丸めてみる」といった発想がおもしろかったです。

◎失敗してもやり直しやすく、挑戦しやすい。

◎手先の器用さや感覚の発達にもつなげることができた。



#### ⑤造形遊び（袋をつなげてみよう）

袋をつなげて、空気を送ったり、袋の中にお花紙を入れてみたりしました。



左の写真は、袋をつなげるだけでなく、その中にお花紙を入れることでおもりになり、ボールとして遊ぶことができました。はねると中のお花紙が混ざってきれいでした遊びから体育的な遊びにつながっています。

右の写真は縦長につなげて空気をいれることで、袋は立つのかなという挑戦からつくられたものです。

### ⑥造形遊び（傘を使ってみよう）

傘やスランテープなどを使って、光やかげから活動する空間の雰囲気をつくりかえました。高学年向けです。



どの傘が芝生にはきれいに映るかやってみると赤色の傘がきれいでした。自分の影と傘の影を組み合わせると楽しかったです。

また、木に傘をかけることで木を彩る楽しみ方もありました。この時も傘を重ねると色が変わり、きれいでした。

◎立体や空間構成を意識するきっかけになる。

◎透明な傘なので光を通した表現を楽しめる。

### 3. おわりに

造形遊びは、子どもたちがどんな力を発揮することができるのかわかる活動です。「先生、これでいいですか？」という問いかけが多かった子どもたちがたくさん造形遊びをしていく中で「こんな風にやりたいのですがどうしたらいいですか？」という自分がやりたいことの相談へと変わっていったという実践を聞きました。

今回の研修で実際に自分たちが造形遊びを試してみはじめは自分がつくったものがうまくいかないと感じていましたが、周りの方と話しながらか進めることで新たな気づきがあり、最後には自分が納得のいく活動ができました。このやりとりが子どもたちの資質や能力を高めていくものの1つだと学ぶことができました。

また、身の回りのものを使って、こんなに楽しめるのが造形遊びなのだ改めて感じました。その楽しさの中には、子どもたちの想像力がたくさん詰まっているのだと実感しました。さらに、このような行動から子どもたちの表現をどう評価するかについても聞かせていただきました。

参加された先生方と積極的な交流にもあり、色々な見方や感じ方を共有でき、今後の実践につながる研修となり、大変有意義な研修になりました。